

◆留学生アラカルト

▼2月にイオンの駐車場で行われた「寒中屋台村」に協会も出店。サムは風邪で欠席でしたが、クリスは、猛吹雪の中、浜益産のホタテや温かいコーヒートの販売を「いらっしやいませ〜い」と叫びながら手伝ってくれました。彼のがんばりもあって、2万3千円の利益ができました。



▲早食い競争にチャレンジするクリス

▼海開きを前に、サマンサ、クリス、莫さん、劉さんと事務局2人で力を合わせて石狩浜のゴミ拾い

に参加しました。クリスとサムは、「どうして流木を捨てるの？自然の一部なのに。」と不可解な表情をしていました。莫さんと劉さんが住む街には海がないので、2人とも「ゴミ拾いよ海で遊びたか



▲新留学生のリエルと25周年記念のバレードを歩く真穂ちゃん。



▲懐かしい顔、顔…。おっさんになってしまったのもいるな。

った様子でした。が、しつかり端から端まで拾ってくれました。

▼山川真穂さんは、とても明るい笑顔の持ち主。通ったティンバーライン高校でも友だちがたくさんできたようです。25周年のバレードでも浴衣を着て活躍していました。

▼25周年のときに、総勢11人の留學生が集まり、今何をしているのか、結婚して子どもはいるのか、石狩のみんなはどうしているのかなど、話がつきませんでした。ただ、十数年前の留學生はほとんど日本語を覚えてない様子でした。4月まで日本にいたステイブンは市長の通訳を務めてくれました。



▼8月からの新留學生は、どちらも一人。岡山あゆみさんがカリハイ高校に、リエル・トレゴさんが翔陽高校に通います。

◆ヤングアンバサダー08

11回目の派遣となった今回は、参加者が10人ということから中止も検討されましたがお互いの交流の機会をなくしたくないという両市の関係者の思いから、3月27日〜4月5日に予定通り実施しました。参加した子どもたちの感想を載せた文集「ALUMNI」は、図書館でもご覧いただけます。



▲さよならパーティーで披露したアルゴリズム行進

■姉妹都市提携25周年記念

カナダ・キャンベルリバー訪問

平成20年6月29日〜7月6日、33人の訪問団が友好を深めました。



▲ウッドカービングコンテストに参加した中谷さん。ホームステイをしながら数日かけて作品を完成。見事3位に入賞！



▲CR 実行委員長のアシュリーさんと、訪問団最年長(89歳!)の松浦さん。

ビクトリアやバンフは普通のツアーでも楽しめると思いますが、キャンベルリバーでは比較にならない楽しさを味わうことができました。ハートと笑顔があれば、語学能力やお金がなくても、一

気に地元の人たちと仲良くなれて、ともに思い出を作ることができたと思います。祝賀会で同じテーブルに座った知らない人たち…。日本だと、知り合いの日本人同士で会話をしがちですが、キャンベルリバーの人たちは、人種など関係なく誰とでも仲良く話そうという意欲を見せてくれます。カナダデーのパレードで、訪問団が樺みこしを担いだとき、祝賀会で仲良くなった議員さんが参加して「ハッピーにうちわ」姿で練り歩いてくれました。人の目など気にせず、25周年を祝いたいという気持ちからの行動だったと思います。「英語が話せない」「知っている人がいない」、そんなことは関係ありません。まったく英語を話せない石狩の人たちが、満面の笑みで「9月はぜひおもてなしをしたい！また再会できること」を、心から楽しみにしています」と言っていたのを見て、本当に良い旅だったなと思いました。(平野セーラ)



▲カナダデーでのパレード。石狩はお神輿をかついで、駄菓子やおもちゃを配布。



▲CR 部会前部会長の飯尾さんと、長年国際交流にかかわってきたワトソン夫妻。



▲アサバスカ氷河にて。厚さ300mもの氷河の上で天然水を試飲。

♥はーとふる♥
編集・発行/NPO法人石狩国際交流協会広報部/64-5666-1

中国・四川大地震 姉妹都市 彭州市への支援

平成20年5月12日、中国四川省で発生した大地震により、姉妹都市である彭州市も大きな被害を受けました。今回は、その状況と協会及び市の支援について報告します。



■震源地に近い彭州市

震源地に近い彭州市は、震度5.6の揺れがあり、山岳地帯の建物のほとんどが倒壊し、多くの市民が家を失いました。

▽現地の声ー5月13日

【彭州市外事弁公室 王永松氏】M5の余震が続き、死者の数が増えています。普通の住宅の90%が倒れて、今一番必要なものがテントです！

▼石狩の支援ー5月14日

協会を窓口として、地震災害義援金を募ることを決定し、市内10箇所に募金箱を設置するとともに、現地へ声をかけ、テントを送ることを決定する。



▽現地の声ー5月14日

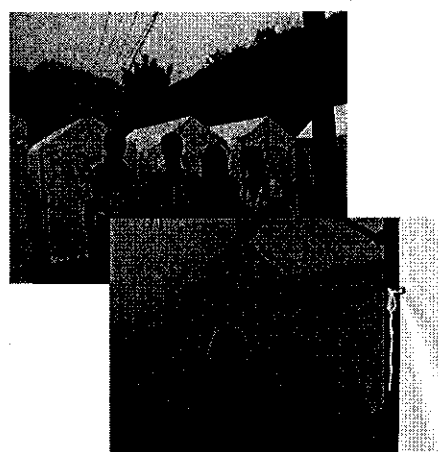
多くの市民はテントで生活し、負傷者3千人、死者600人以上が確認されています。

▽現地の声ー5月20日

これまで3千500回以上の余震があり、20万人以上の市民が家を失い、死者890人、行方不明者599人、負傷者3千129人に達しました。

▼石狩の支援ー5月22日

協会よりテント10張、石狩市より15張を彭州市へ向けて送付。26日に、現地より受け取ったとの連絡が入る。



▼石狩の支援ー6月2日

花川南幼稚園で、園長が義援金のポスターを見たことをきっかけに、園児の希望もあつて集めた義援金5万45円を、協会の吉田副会長に渡す。

収事業一益金1万6千368円を稲見会長に渡す。

▽現地の声ー6月13日

【彭州市長からのメッセージ要約】12日現在、57万人以上の被災者、4万戸以上の家屋が全壊、30万戸以上の家屋が半壊5千700人以上が負傷、180人が行方不明、946人が死亡、経済損失は276億元(約4千333億円)と見込まれます。被災地区への生活用テントの提供、募金活動など、石狩市民の彭州市に対する心温まる気持ちに、彭州市政府及び彭州

市民を代表して、衷心より感謝の意を表します。...

■義援金への協力

ありがとうございます。義援金は6月末日まで募集し、各種団体、学校など多くの方々からご協力いただき、合計162万2680円集まりました。義援金はテントの購入に62万2680円を充て、復興支援金として100万円を彭州市へ送ります。皆さんの温かいご協力ありがとうございました。

さまざまな思いを胸に

ー彭州市からの留学生が石狩にー



劉小慶さん (Liu Xiaoqing)

年齢：17歳
学校：彭州市職業高等学校
趣味：歌を歌うこと、ダンス、朗読、絵画



莫璐夢さん (Mo Lumeng)

年齢：16歳
学校：彭州市第一高等学校
趣味：書道、テコンドー、琵琶(楽器)

2005年の彭州市との姉妹都市提携5周年の際に決まった高校生留学事業。今年は大震災で大きな被害を受けましたが、日本に来たいという大きな志をもち、6月15日に石狩市に到着しました。

この大地震で劉さんは母親を失い、自宅も瓦礫の山と化し、テント暮らしを強いられることに。留学をやめようと思ったこともありましたが、亡き母の「日本語が上手になって帰ってきて」との生前の言葉に行くことを決意しました。

2人は8月10日まで、ホームステイをしながら、市内の高校で学び、ボランティアから日本語のレッスンを受けたりして日本の文化を学びます。

石狩・キャンベルリバー・ワニノ 姉妹都市提携周年記念事業

キャンベルリバー市と姉妹都市提携25周年、ワニノ市との15周年を迎える今年、実行委員会では各種事業を開催します。ぜひご参加ください。

■申込・お問合せ
実行委員会事務局(協会内)
(64-5931)

■9/19(金)

第124回カナダ・スクール(講演会)

北海道とカナダの交流は、北海道とアルバータ州の姉妹都市提携をはじめ、とても活発に行われています。カナダの文化に触れてみましょう。

時間：18:00~19:00

場所：花川北コミュニティセンター

費用：無料

■9/20(土)

訪問団が

石狩さけまつりに

バグパイプの演奏、ワニノのミュージカルなどが予定されています。

時間：12:00~13:30

場所：さけまつり会場

■9/20(土)

記念式典・祝賀会に

参加しませんか?

両市の方々と共に記念の年を祝いましょう！石狩の地場産品による祝賀会も開催します。

時間：①記念式典 15:30~16:30

②祝賀会 17:30~19:30

※中学生以下は保護者同伴

場所：花川北コミセン

費用：①無料 ②3,000円

■ホストファミリー 募集!

CRよりバグパイプバンドの若者たちなどがやってきます。普段の生活の中で彼らを迎え入れてみませんか? 新たな世界が広がります!

期間：9月13日~21日
8泊9日(予定)

■ボランティア スタッフ募集!

日常会話程度で、英語・ロシア語が出来る、通訳ボランティアスタッフを募集しています。記念事業で活躍してみませんか?

期間：9月18日~21日